



基本的事項

緒言

独立行政法人日本原子力研究開発機構(以下、「原子力機構」という。)は我が国唯一の原子力に関する総合的研究開発機関です。原子力に関する研究開発の国際的中核拠点を目指し、原子力の基礎・基盤研究から実用化を目標とするプロジェクト研究開発まで、安全確保の徹底と立地地域との共生を大前提に、幅広い領域の研究開発を行っています。

特に、国家基幹技術と位置付けられた高速増殖炉サイクル研究開発、民間の処分事業と安全規制に貢献する高レベル放射性廃棄物の地層処分研究開発、新しいエネルギー源の開拓を目指す核融合研究開発、及び基礎科学から産業利用まで幅広い分野に寄与する大強度陽子加速器施設(J-PARC)での研究を主要事業として推進しています。これらの研究開発については本報告書の中でご紹介します。

この中で高速増殖炉サイクル研究開発の中核的施設である高速増殖炉「もんじゅ」は、ナトリウム漏えい事故以来中断していた性能試験を2010年5月に再開しました。これについては特集として取り上げました。

近年、地球環境問題、特に地球温暖化の問題に関して、人類の生存に係る喫緊の重要テーマとして世界的に議論がなされています。大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させることを究極の目標とする「国連気候変動枠組条約」に関しては、2009年末にコペンハーゲンで開催されたCOP15(第15回締約国会議)において2013年以降の温室効果ガス排出削減の枠組み(ポスト京都議定書)



独立行政法人
日本原子力研究開発機構
理事長

岡崎俊雄

について議論されました。この会議では具体的な温室効果ガスの削減目標等に関する合意には至りませんでしたが、「『世界全体の気温の上昇を2度以内とすべき』との科学的見解を認識して、気候変動に対処するための長期的な協力を強めていくこと」などが合意されました。現在、2010年末にメキシコ・カンクンで開催予定のCOP16におけるポスト京都議定書の採択を目指して、検討が続けられています。

我が国も、温室効果ガスの排出量について、2009年7月のG8ラクシア・サミット(イタリア)で、2050年までに1990年比で80%を削減することに賛成しました。また、同年9月には首相の国連演説で、すべての主要国による公平かつ実効性のある国際的な枠組みの構築及び意欲的な目標の合意を前提として、2020年までに1990年比で25%削減する旨が表明されました。また、2010年6月に閣議決定された新しい「エネルギー基本計画」では、エネルギー安全保障の強化等に資する原子力などについては最大限の導入を図ることとされています。

一方、1997年に合意された京都議定書に規定された温室効果ガスの削減目標を達成するために、業務部門の省エネルギーを図り温室効果ガス排出量の削減を目指す改正省エネ法及び改正温対法が2010年度から施行され、原子力機構も対応しているところです。

これらの状況が示すように、温室効果ガス排出量の削減及びエネルギー安定供給には原子力が鍵を握ることが明かです。原子力機構が組織をあげて取り組んでいる研究開発は、現在、全世界が抱えている地球温暖化問題をはじめとするエネルギー・環境問題の解決に貢献できるものと確信しています。

以上の背景を踏まえ、原子力機構では、業務遂行に際して役職員一人ひとりが取り組むべき目標の一つとして「環境基本方針」を定めるとともに、環境に配慮した活動を充実させるための努力を行ってきました。本環境報告書は、環境配慮促進法¹⁾に基づき、2009事業年度における原子力機構の業務実績を環境配慮の視点からとりまとめたものです。原子力機構が、原子力の総合的な研究開発に取り組む中で行っている環境問題の解決に貢献する研究開発や環境配慮活動への取組状況を、地域社会の皆様はもとより、広く国民の皆様にお知らせすることを目的にしています。今後も引き続きこれらの事業活動をより良いものにできるように努力してまいります。これらの活動について皆様にご理解いただき、また、忌憚のないご意見などをお寄せいただければ幸いです。

2010年7月

1)「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」(平成16年6月2日法律第77号)

平成21年度環境基本方針

1. 我が国の将来のエネルギーの安定供給、資源の有効利用及び環境負荷の低減・環境汚染の予防などの地球環境の保全を図るため、原子力の総合的研究開発の業務を推進します。
2. 事業運営に当たっては環境への配慮を優先事項と位置付け、環境保全に関する法令、自治体条例等の要求事項を遵守するとともに、安全確保を図りつつ、省エネルギー、省資源、廃棄物の低減を図り、環境保全の向上に努めます。
3. 環境保全に関する情報発信を推進し、国民や地域社会との信頼関係を築くように努めます。